

(首欠)

(第一紙) T22_p499a29~

- 1 僧集「 』
 - 2 而去上坐逼「 』
 - 3 来諸比丘說欲清「 』
 - 4 比丘問言上坐来未「 』
 - 5 少比丘慊言云「 』
 - 6 □□人知諸比「 』丘以是因緣往白世尊佛
 - 7 呼難陀来「 』
 - 8 尔佛言從「 』
 - 9 知上坐法應知「 』
 - 10 布薩若晝若夜當「 』
 - 11 中應廣誦五篇戒「 』
 - 12 聞若城邑聚落中「 』
 - 13 今僧十四日「 』
 - 14 影在某「 』
 - 15 已誰應呪願誦「 』
 - 16 僧来集有檀越「 』
 - 17 問若不能者應「 』
 - 18 布薩時至者應「 』
- (第二紙) T22_p499b18~
- 1 与呪願發遣「 』
 - 2 者應香湯「 』
 - 3 一人収不□覆「 』
 - 4 右肩行籌受籌「 』
 - 5 然後行沙弥籌行「 』
 - 6 許沙弥合有尔許人「 』
 - 7 者次第二上坐誦「 』
 - 8 誦時若逼暮「 』
 - 9 住處遠有「 』

1 坐||座【大】 大正蔵に校注なし。
 2 坐||座【大】 大正蔵に校注なし。
 3 慊||嫌【大】 大正蔵に校注なし。
 4 坐||座【大】 大正蔵に校注なし。
 5 来||未【大】 大正蔵に校注なし。
 6 坐||座【大】 大正蔵に校注なし。

- 10 上諸難者應「 』
- 11 和合竟夜說法「 』
- 12 應如是若不尔者越「 』
- 13 佛住舍衛城尔時比「 』
- 14 上坐⁷来第一上坐⁸不「 』
- 15 施問僧集「 』問「 』
- 16 上坐⁹不来檀□□言我欲少有所施第二上坐¹⁰不来待良久不来便布施而去第一上坐¹¹
- 17 逼暮方来上坐¹²慊¹³言世尊獨制我第二上坐¹⁴
- 18 便不問耶諸比丘以是回縁往白世尊佛言
- 19 呼是比丘来来已佛問比丘汝實尔不荅言
- 20 實尔佛言從今日□布薩時第二上坐¹⁵忿¹⁶應如是知云何「 』一切如上□中廣說但以第一上坐¹⁷為異耳若僧上坐¹⁸不能者第一上坐¹⁹
- 21 應知若不如是者越威儀法
- 22 佛住舍衛城尔時比丘僧集欲作布薩上坐²⁰

(第11紙) T22_499c15~

- 1 第一上坐²¹来餘人仿佯²²不時来集上坐²³第二上坐²⁴慊²⁵言世尊獨制我不制餘人耶諸比丘以
- 2 是回縁往白世尊佛言呼是諸比丘来来已
- 3 佛問汝實尔□□言實尔世尊佛言從今日

- 7 坐=座【大】 大正蔵に校注なし。
- 8 坐=座【大】 大正蔵に校注なし。
- 9 坐=座【大】 大正蔵に校注なし。
- 10 坐=座【大】 大正蔵に校注なし。
- 11 坐=座【大】 大正蔵に校注なし。
- 12 坐=座【大】 大正蔵に校注なし。
- 13 慊=嫌【大】 大正蔵に校注なし。
- 14 坐=座【大】 大正蔵に校注なし。
- 15 坐=座【大】 大正蔵に校注なし。
- 16 忿=亦【大】 大正蔵に校注なし。
- 17 坐=座【大】 大正蔵に校注なし。
- 18 坐=座【大】 大正蔵に校注なし。
- 19 坐=座【大】 大正蔵に校注なし。
- 20 坐=座【大】 大正蔵に校注なし。
- 21 坐=座【大】 大正蔵に校注なし。
- 22 仿佯=仿佯【大】 大正蔵に校注なし。
- 23 坐=座【大】 大正蔵に校注なし。
- 24 坐=座【大】 大正蔵に校注なし。
- 25 慊=嫌【大】 大正蔵に校注なし。

- 5 後布薩事一切僧應如是知云何如是應知
- 6 月一日二日乃至十四日十五日布薩中間布
- 7 薩日處所應知若人問今是幾日不得²⁶送²⁶問
- 8 昨日是幾日要當知若恐忘者應作²⁷籌繩²⁷算²⁷
- 9 懸講堂前若²⁸廚²⁸前直月知事人日過一²⁸籌
- 10 布薩日廣誦五²⁹戒²⁹乃至四事及偈餘者
- 11 僧常聞一切如上³⁰坐³⁰中廣說但一切為異若
- 12 上³⁰坐³⁰第一上³¹坐³¹復不能者餘一切盡應知若
- 13 不如是越威儀法
- 14 佛住舍衛城尔時祇洹精舍檀越設供飯比
- 15 丘僧第一上³²坐³²不来羹飯已冷檀越言比丘
- 16 僧集未荅言未集誰不来荅言第一上³³坐³³檀
- 17 越³⁴嫌³⁴言我捨家業来欲飯僧而比丘不集上
- 18 ³⁵坐³⁵時至方来³⁶爇³⁶不歎食呪願³⁷踰³⁷躄³⁷食已便去
- 19 年少問言上³⁸坐³⁸来未荅言已来食竟便去年
- 20 少³⁹嫌³⁹言上⁴⁰坐⁴⁰来⁴¹爇⁴¹不令人知去⁴²爇⁴²不令人知
- 21 諸比丘以是回緣往白世尊佛言呼難陀来
- 22 来已佛問汝實尔不荅言實尔佛言從今日
- 23 後僧上⁴³坐⁴³食應如是知云何如是知今日誰
- 24 施食為二部眾為一部眾為別房請聚落中
- 25 若精舍中應知若有人請明日飯僧僧上⁴⁴坐⁴⁴

- 26 送²⁶逆²⁶【大】 大正藏に校注なし。
- 27 穿²⁷穿²⁷【大】 大正藏に校注なし。
- 28 廚²⁸廚²⁸【大】 大正藏に校注なし。
- 29 坐²⁹坐²⁹【大】 大正藏に校注なし。
- 30 坐³⁰坐³⁰【大】 大正藏に校注なし。
- 31 坐³¹坐³¹【大】 大正藏に校注なし。
- 32 坐³²坐³²【大】 大正藏に校注なし。
- 33 坐³³坐³³【大】 大正藏に校注なし。
- 34 (不来) + 【大】
- 35 嫌³⁵嫌³⁵【大】 大正藏に校注なし。
- 36 坐³⁶坐³⁶【大】 大正藏に校注なし。
- 37 爇³⁷爇³⁷【大】 大正藏に校注なし。
- 38 踰³⁸躄³⁸狼³⁸狼³⁸【大】 大正藏に校注なし。
- 39 坐³⁹坐³⁹【大】 大正藏に校注なし。
- 40 嫌⁴⁰嫌⁴⁰【大】 大正藏に校注なし。
- 41 坐⁴¹坐⁴¹【大】 大正藏に校注なし。
- 42 爇⁴²爇⁴²【大】 大正藏に校注なし。
- 43 爇⁴³爇⁴³【大】 大正藏に校注なし。
- 44 坐⁴⁴坐⁴⁴【大】 大正藏に校注なし。
- 45 坐⁴⁵坐⁴⁵【大】 大正藏に校注なし。

(第四紙) T22_p500a11 ~

- 1 不得即受應知前請人姓名客舊巷陌處所
- 2 恐有人試⁴⁶抹⁴⁶比丘故不應即受若有人識彼
- 3 請人男女得受請受請已不得便隨去至明
- 4 且應遣直月若⁴⁷菌⁴⁷民若沙弥往看之或遭⁴⁸懸⁴⁸
- 5 官水火盜賊產生死亡不能得⁴⁹辨⁴⁹若有此難
- 6 僧應自⁵⁰辨⁵⁰食若无者語令乞食使往問請主
- 7 食⁵¹辨⁵¹未若言是何人是何食當知彼誑若僧
- 8 迦⁵²藍有食應⁵³辨⁵³常食若无應唱言比丘僧被
- 9 誑各自乞食若請主言尊者正尔⁵⁴辨⁵⁴是時上
- 10 坐⁵⁵應知時若冬時應一切集已共去若春夏時應
- 11 前後去若到彼請家日早食未⁵⁶辨⁵⁶欲⁵⁷飲⁵⁷餘行
- 12 應白比丘我欲至某⁵⁸家若食⁵⁹辨⁵⁹者莫待我去
- 13 已應早還入檀越家時上⁶⁰坐⁶⁰應知坐左右若
- 14 檀越作吉祥會右敷⁶¹坐⁶¹者應坐若為餓鬼會
- 15 左敷⁶²坐⁶²者⁶³應坐若敷長淨坐具急者應以
- 16 手按令緩徐徐坐不得使裂若不急者不得⁶⁴項⁶⁴
- 17 身坐或下有器物眠小兒⁶⁵先應一手⁶⁶案⁶⁶坐⁶⁷不

- 46 抹⁴⁶弄⁴⁶【大】 大正藏に校注なし。
- 47 菌⁴⁷園⁴⁷【大】 大正藏に校注なし。
- 48 懸⁴⁸縣⁴⁸【大】 大正藏に校注なし。
- 49 辨⁴⁹入⁴⁹【大】 大正藏に校注なし。
- 50 辨⁵⁰入⁵⁰【大】 大正藏に校注なし。
- 51 辨⁵¹入⁵¹【大】 大正藏に校注なし。
- 52 迦⁵²伽⁵²【大】 大正藏に校注なし。
- 53 辨⁵³入⁵³【大】 大正藏に校注なし。
- 54 辨⁵⁴入⁵⁴【大】 大正藏に校注なし。
- 55 坐⁵⁵座⁵⁵【大】 大正藏に校注なし。
- 56 辨⁵⁶入⁵⁶【大】 大正藏に校注なし。
- 57 〔飲〕一【大】 大正藏に校注なし。
- 58 〔甲〕+【大】 大正藏に校注なし。
- 59 辨⁵⁹入⁵⁹【大】 大正藏に校注なし。
- 60 坐⁶⁰座⁶⁰【大】 大正藏に校注なし。
- 61 坐⁶¹座⁶¹【大】 大正藏に校注なし。
- 62 坐⁶²座⁶²【大】 大正藏に校注なし。
- 63 忿⁶³亦⁶³【大】 大正藏に校注なし。
- 64 項⁶⁴頓⁶⁴【大】 大正藏に校注なし。
- 65 兒⁶⁵兒⁶⁵【大】 大正藏に校注なし。
- 66 案⁶⁶按⁶⁶【大】 大正藏に校注なし。
- 67 坐⁶⁷座⁶⁷【大】 大正藏に校注なし。

- 18 得持膩鉢及餅菓⁸³着⁸²上不得用拭手上坐⁷⁹當
- 19 知誰看房誰病應語与食若檀越惜者應語
- 20 言長壽法應与不得不与若日早⁷¹應着⁷²行取
- 21 若日晚者應先取發遣令去僧上坐⁷³應知前人
- 22 為何寺施當為應時呪願若檀越行食時多
- 23 与上坐⁷⁴者上坐⁷⁵應問一切僧盡得尔許不荅言
- 24 止上坐⁷⁶得耳應語言一切平寺与若言盡得
- 25 者應受若湏少取少下者應語多與若乳酪

(第五紙) T22_1500b08~

- 1 餅突⁷⁷糲⁷⁸如是比好食盡應語平寺与僧上坐⁷⁹
- 2 法不得随下便食應待行遍唱寺共⁸⁰已然後
- 3 得食上坐⁸¹法當徐徐食不得速食竟住看令
- 4 年少踉蹌⁸²食不飽應相望看不得食竟便在
- 5 前出去應待行⁸³水随⁸⁴呪願已然後乃出若
- 6 為亡人施福者不應作是吉祥嘆⁸⁵
- 7 賢善已无常 今是吉祥日 種種設餽餽 供養良福田
- 8 應作如是呪願
- 9 一切衆生類 有命皆歸死 随彼善惡行 自受其果報
- 10 行惡入地獄 為善者生天 若能脩⁸⁶行道 漏盡得泥洹
- 11 若生子設福者不應作如是說

⁸³菓||果【大】 大正藏に校注なし。
⁸⁴着||著【大】 大正藏に校注なし。
⁷⁹坐||座【大】 大正藏に校注なし。
⁷¹〔者〕+【大】 大正藏に校注なし。
⁷²着||著【大】 大正藏に校注なし。
⁷³坐||座【大】 大正藏に校注なし。
⁷⁴坐||座【大】 大正藏に校注なし。
⁷⁵坐||座【大】 大正藏に校注なし。
⁷⁶坐||座【大】 大正藏に校注なし。
⁷⁷宍||肉【大】 大正藏に校注なし。
⁷⁸糲||酥【大】 大正藏に校注なし。
⁷⁹坐||座【大】 大正藏に校注なし。
⁸⁰共||供【大】 大正藏に校注なし。
⁸¹坐||座【大】 大正藏に校注なし。
⁸²踉蹌||狼狽【大】 大正藏に校注なし。
⁸³〔淨〕+【大】
⁸⁴慎||順【大】 大正藏に校注なし。
⁸⁵嘆||歎【大】 大正藏に校注なし。
⁸⁶脩||修【大】 大正藏に校注なし。

- 12 童子棄塚間 唵指七日活 不遭蚊⁹⁵害 童子功德力
- 13 應如是呪願
- 14 童子歸依佛 如來毗婆施 尸〔去十世〕⁹⁸毗葉婆 拘樓拘那鎗
- 15 迦葉及釋迦 七世大聖尊 譬如人父母 慈念於其子
- 16 舉世之樂具 皆悉欲令得 令子受諸福 復倍勝於彼
- 17 室家諸眷屬 受樂⁹⁹无極
- 18 若入新舍設供者不得作是說
- 19 若火燒屋時 得出中所有 必為己財寶 不為火所焚
- 20 應作如是呪願
- 21 屋舍覆蔭施 所欲隨意得 吉祥賢聖衆 處中受⁹⁹而用
- 22 世有黠慧人 乃知於此處 請持戒梵行 脩⁹⁹福設飲食
- 23 僧口呪願故 宅神常歡喜 善心生守護 長夜於中住
- 24 若入於聚落 及以曠野處 若晝若於夜 天神常隨護
- 25 若估客欲行設福者不應作是說

(第六紙) T22_1500c16~

- 1 一切諸方面 賊難不可行 今正是其時 出家脩⁹⁹梵行
- 2 應作⁹⁹是說
- 3 諸方皆安隱 諸天吉祥應 聞已心歡喜 所欲皆悉得
- 4 兩足者安隱 四足者⁹⁹安 去時得安隱 來時⁹⁹安隱
- 5 夜安晝⁹⁹安 諸天常護助 諸伴皆賢善 一切悉安隱
- 6 康健賢善好 手足皆无病 舉體諸身分 无有疾苦處
- 7 若有所欲者去得心所願
- 8 東方有七星常護世間令得如願一名吉利
- 9 帝二名路呵丘三名僧阇那四名分婆唵五
- 10 名弗施六名婆羅那七名阿舍利是名七星
- 11 在東方常護世間今當護汝令得安隱得利
- 12 早還一切星宿皆當護汝復次東方有八天女一

⁹³ 虫⁹⁵ 大正藏に校注なし。
⁹⁸ 〔去十世〕⁹⁸ 兼【大】 大正藏に校注なし。
⁹⁹ 忽⁹⁹ 亦【大】 大正藏に校注なし。
⁹⁰ 受而⁹⁹ 而受【大】
⁹¹ 脩⁹⁹ 脩【大】 大正藏に校注なし。
⁹² 脩⁹⁹ 脩【大】 大正藏に校注なし。
⁹³ 〔如〕+【大】 大正藏に校注なし。
⁹⁴ 忽⁹⁹ 亦【大】 大正藏に校注なし。
⁹⁵ 忽⁹⁹ 亦【大】 大正藏に校注なし。
⁹⁶ 忽⁹⁹ 亦【大】 大正藏に校注なし。

- 13 名頼車摩提二名尸沙摩提三名⁹⁷稱四名耶
- 14 輸陀羅五名好覺六名婆羅⁹⁸摩七名婆羅
- 15 浮陀八名阿毗呵羅是名八天女在東方常
- 16 護世間有天王名⁹⁹頭頼吒撻闍婆王及一切
- 17 諸天常護汝等普令安隱得利早還東方有
- 18 支提名弓杖常出光明諸天恭敬供養是一
- 19 切供養天當護汝令得財利安隱早還南方
- 20 有七星常護世間一名摩伽二三同名頗求
- 21 厘四名¹⁰⁰帝五名質多羅六名私婆帝七名
- 22 毗舍佉是名七星在南方常護世間今當護
- 23 汝令安隱得利早還一切星宿皆當護汝南
- 24 方有八天女一名頼車魔帝二名施師¹⁰¹帝
- 25 三名名稱四名¹⁰²稱持五名好覺六名好家七

(第七紙) T22_p501a17~

- 1 名好力八名非断常護世間有天王名毗留
- 2 荼俱魔茶鬼神王共護汝¹⁰³得利早還南方有
- 3 支提名阿毗鉢施常放光明諸天恭敬供養
- 4 一切供養支提諸天¹⁰⁴當護汝等安隱得利早還
- 5 西方有七星常護世間一名不滅二名¹⁰⁵吒三
- 6 名牟邏四名堅強精進五六同名阿沙茶七
- 7 名阿毗闍摩是名七星常護世間當護汝等
- 8 得利早還一切星宿皆當護汝西方有八天
- 9 女一名阿藍浮婆二名雜髮三名阿利吒四
- 10 名好光五名伊迦提舍六名那婆私迦七名
- 11 既色厘八名沙陀羅是名八天女有天王名
- 12 毗留博叉常護世間有龍王名婆留厘及一
- 13 切諸龍當護汝等得利早還西方有山名饒
- 14 益日月居中若有所求得心所願北方有七

⁹⁷ 【名】+【大】 大正蔵に校注なし。

⁹⁸ 濕⁹⁸ 大正蔵に校注なし。

⁹⁹ 【提】+【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁰⁰ 容¹⁰⁰ 大正蔵に校注なし。

¹⁰¹ 摩¹⁰¹ 大正蔵に校注なし。

¹⁰² 【名】+【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁰³ 【等】+【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁰⁴ 當¹⁰⁴ 大正蔵に校注なし。

¹⁰⁵ 断¹⁰⁵ 大正蔵に校注なし。

- 15 星常護世間一名檀尸吒二三同名世陀帝
- 16 四名不魯具陀尸五名離婆帝六名阿濕¹⁰⁶尸
- 17 七名婆羅尸是名七星常護世間當護汝等
- 18 得利早還一切星宿皆當護汝北方有八天
- 19 女一名尸羅提毗二名脩¹⁰⁷羅提毗三名具¹⁰⁸吒
- 20 毗四名波頭摩五名呵尸六名波利七名遮
- 21 邏尸八名迦摩是名八天女有天王名婆留
- 22 那常護世間當護汝等得利早還北方有山
- 23 名枳羅¹⁰⁹鬼神常居中一切諸鬼神當護汝
- 24 等得利早還¹¹⁰廿¹¹¹八宿并日月¹¹²卅¹¹³二天女并四
- 25 大天王治世有名稱東方提頭羅吒王西方

(第八紙) T22_1501b14~

- 1 毗留¹¹⁴北¹¹⁵又王南方毗留茶王北方婆留那王
- 2 八沙門八婆羅門八大國刹利八帝釋女¹¹⁶當
- 3 護汝等得利早還若取婦施者不應作是說
- 4 枯河无有水 國空王无護 女有兄弟十 ¹¹⁷忽¹¹⁸名无覆護
- 5 應作是呪願 女人信持戒 夫主¹¹⁹復然 由有信心故
- 6 能行脩¹²⁰布施 二人俱持戒 ¹²¹脩¹²²習正見行 歡樂¹²³作福田¹²⁴
- 7 諸天常隨喜 此業之果報 如行不¹²⁵費糧¹²⁶
- 8 若出家人布施者不得作是說
- 9 使子孫繁熾 奴婢及錢財 牛羊諸六畜 一切皆¹²⁷茲¹²⁸多
- 10 應作是呪願
- 11 持鉢家家乞 值暝或遇喜 將適護其意 出家布施難

- 106 濕¹⁰⁶ 大正藏に校注なし。
- 107 脩¹⁰⁷ 大正藏に校注なし。
- 108 具¹⁰⁸ 大正藏に校注なし。
- 109 糞¹⁰⁹ 大正藏に校注なし。
- 110 廿¹¹⁰ 大正藏に校注なし。
- 111 卅¹¹¹ 大正藏に校注なし。
- 112 北¹¹² 大正藏に校注なし。
- 113 〔¹¹³ 大正藏に校注なし。
- 114 忽¹¹⁴ 大正藏に校注なし。
- 115 忽¹¹⁵ 大正藏に校注なし。
- 116 脩¹¹⁶ 大正藏に校注なし。
- 117 脩¹¹⁷ 大正藏に校注なし。
- 118 樂¹¹⁸ 大正藏に校注なし。
- 119 作福田¹¹⁹ 大正藏に校注なし。
- 120 費糧¹²⁰ 大正藏に校注なし。
- 121 茲¹²¹ 大正藏に校注なし。

- 12 僧上¹²⁸坐。應如是知若不如是者越威儀法
- 13 佛住舍衛城時檀越飯僧難陀為上¹²⁹坐。先坐
- 14 憂¹²⁸波難陀及餘比丘不時集上¹²⁸坐。慊¹²⁹言世尊
- 15 獨制我不制餘人耶乃至佛言從今日後應一
- 16 切齊集食上¹²⁹坐。應如上說此中但以第二上
- 17 坐¹²⁸及一切為異乃至當留比坐坐處若行食
- 18 人過者不得嘿¹²⁹。然而看比坐應語与是不得
- 19 得食便先食要待遍已然後食若時逼者隨
- 20 下隨食无罪上¹²⁸坐。應呪願若不能者第二上¹²⁹坐。
- 21 呪願若復不能者下過乃至能者應呪願如
- 22 是一切食上¹²⁸。應知若不如是知者越威儀法
- 23 佛住舍衛城時憂¹²⁸波難陀度人出家受具足
- 24 受具足已不教誡如天牛羊威儀不具足不
- 25 知承事和上阿闍梨長老比丘法又不知入聚

(第九紙) T22_p501c17~

- 1 落阿練若法不知¹²⁴入衆着¹²⁵衣持鉢法諸比丘以
- 2 是回縁往白世尊佛言呼憂¹²⁹波難陀來來已
- 3 佛問比丘汝實尔不荅言實尔佛言從今日後
- 4 和上應如是教共行弟子云何教受具足已
- 5 應教誦二部比丘若不能者教誦一部復不能
- 6 者教廣誦五徧¹²⁴戒復不能者教誦四三二下至
- 7 四事日三教晨起日中向冥教¹²⁸法者若阿

- 122 坐¹²⁸座【大】 大正蔵に校注なし。
- 123 坐¹²⁸座【大】 大正蔵に校注なし。
- 124 憂¹²⁸優【大】 大正蔵に校注なし。
- 125 坐¹²⁸座【大】 大正蔵に校注なし。
- 126 慊¹²⁸嫌【大】 大正蔵に校注なし。
- 127 坐¹²⁸座【大】 大正蔵に校注なし。
- 128 坐¹²⁸座【大】 大正蔵に校注なし。
- 129 嘿¹²⁸默【大】 大正蔵に校注なし。
- 130 坐¹²⁸座【大】 大正蔵に校注なし。
- 131 坐¹²⁸座【大】 大正蔵に校注なし。
- 132 (座) + 【大】 大正蔵に校注なし。
- 133 憂¹²⁸優【大】 大正蔵に校注なし。
- 134 (不知) - 【大】
- 135 着¹²⁸著【大】 大正蔵に校注なし。
- 136 憂¹²⁸優【大】 大正蔵に校注なし。
- 137 徧¹²⁸篇【大】 大正蔵に校注なし。
- 138 (教) - 【大】 大正蔵の校注の内容(教+) (教) (三) (宮)、(教教) (聖) に誤りがある。

- 8 毗曇若毗¹³⁹ 屺阿毗曇者九部經比屺者波羅
- 9 提木叉略廣若不能者應教知罪輕重知緋¹⁴⁰
- 10 經義知比屺義知陰界入義知曰緣義教威
- 11 儀非威儀應遮受經時共誦時坐禪時即名
- 12 教若不受經共誦坐禪¹⁴¹ 下至應教莫放逸和
- 13 上不如是教共行弟子者越威儀法
- 14 復次佛住舍衛城時憂¹⁴² 波難陀共行弟子不
- 15 數至和上所憂¹⁴³ 波難陀慊¹⁴⁴ 言世尊獨制我不
- 16 制弟子弟子來我當教不來我教誰諸比丘
- 17 以是曰緣往白世尊佛言呼是比丘來來已
- 18 佛問比丘汝實尔不荅言實尔佛言從今日後
- 19 共行弟子應如是事和上云何事共行弟子法
- 20 應晨起先右脚入和上戸入已頭面礼足問
- 21 安眠不若受經若問事已應出小行器唾壺
- 22 着¹⁴⁵ 常處先以水灑地然後掃巨摩塗地洗手
- 23 已授水齒木竟持鉢与¹⁴⁶ 逆¹⁴⁷ 粥食粥已洗器舉
- 24 着¹⁴⁸ 常處若有請處者應往迎食欲入村時授
- 25 入聚落衣捲¹⁴⁹ 疊¹⁵⁰ 【土+爰】¹⁵¹ 中衣着¹⁵² 常處入聚落時應

(第十紙) T22_p502a14~

- 1 從師後行若欲乞食時當白和上和上應語
- 2 如法莫放逸若先還者應与和上敷坐床取
- 3 淨水辨¹⁵³ 草葉待和上和上還已應授与 【土+爰】¹⁵⁴ 中
- 4 衣取入聚落衣抖揅¹⁵⁵ 疊着¹⁵⁶ 常處若熱時應与

- 139 毗¹³⁹ 比【大】
- 140 緋¹⁴⁰ 線【大】
- 141 【者】+【大】 大正蔵に校注なし。
- 142 憂¹⁴² 優【大】 大正蔵に校注なし。
- 143 憂¹⁴³ 優【大】 大正蔵に校注なし。
- 144 慊¹⁴⁴ 嫌【大】 大正蔵に校注なし。
- 145 着¹⁴⁵ 著【大】 大正蔵に校注なし。
- 146 逆¹⁴⁶ 迎【大】 大正蔵に校注なし。
- 147 着¹⁴⁷ 著【大】 大正蔵に校注なし。
- 148 捲¹⁴⁸ 卷【大】 大正蔵に校注なし。
- 149 【土+爰】 大正蔵に校注なし。
- 150 着¹⁵⁰ 著【大】 大正蔵に校注なし。
- 151 辨¹⁵¹ 辦【大】 大正蔵に校注なし。
- 152 【土+爰】 大正蔵に校注なし。
- 153 揅¹⁵³ 揅【大】 大正蔵に校注なし。
- 154 着¹⁵⁴ 著【大】 大正蔵に校注なし。

- 5 水洗浴寒時應燃¹⁵⁵ 爐火已若得好食者應授
- 6 与和上和上看已應問汝何處得是好食若
- 7 言某甲姪女家實¹⁵⁶ 婦家大童女家不能男家
- 8 惡名比丘丘邊惡名沙弥¹⁵⁷ 邊得和上應語此非
- 9 行處不應取彼食若言為說法故得應語不
- 10 得耶¹⁵⁸ 命取人食食時應授水洗手授食若是
- 11 熱時与冷水以扇扇之食已收鉢取草葉洗
- 12 鉢舉着¹⁵⁹ 常處和上若欲入林坐禪時應取屮
- 13 師檀着¹⁶⁰ 肩上持塗¹⁶¹ (彳+目+目+皿) ¹⁶² 隨後到已若受經問義
- 14 得已應在一處脩¹⁶³ 習若欲共他並誦時應¹⁶⁴ 白和
- 15 上和上應問与誰共誦答言与某甲共誦和上
- 16 觀前人持律緩者應語莫去此人不可与作
- 17 往反若持律好者應語誦還時應取屮師檀
- 18 着¹⁶⁵ 肩上持塗¹⁶⁶ (彳+目+目+皿) ¹⁶⁷ 隨還和上欲礼塔時應与水洗
- 19 手授華礼塔已与敷坐床与洗脚与油塗足
- 20 欲眠時應拂拭床蓐¹⁶⁸ 安机應与燃¹⁶⁹ 燈内唾壺
- 21 小行器和上安隱已然後受經問義分房當
- 22 次得時先問和上然後取二人共得房者和
- 23 上應問汝共誰得房舍答言共某甲應觀前
- 24 人持戒緩者應語莫取生人過患若賢善者
- 25 語取後更有上坐¹⁷⁰ 来出去時¹⁷¹ 當白若共行

(第十一紙) T22_p502b10~

- 1 弟子於和上所應如是作若不作者越威儀
- 2 法若弟子衆多下至一拂拭床是名事佛住舍

- 155 燃¹⁵⁵ 然【大】 大正藏に校注なし。
- 156 實¹⁵⁶ 實【大】 大正藏に校注なし。
- 157 [尼] + 【大】 大正藏に校注なし。
- 158 耶¹⁵⁸ 耶 大正藏に校注なし。
- 159 着¹⁵⁹ 著【大】 大正藏に校注なし。
- 160 着¹⁶⁰ 著【大】 大正藏に校注なし。
- 161 塗¹⁶¹ (彳+目+目+皿) 大正藏に校注なし。
- 162 脩¹⁶² 脩【大】 大正藏に校注なし。
- 163 [應] - 【大】 大正藏に校注なし。
- 164 着¹⁶⁴ 著【大】 大正藏に校注なし。
- 165 塗¹⁶⁵ (彳+目+目+皿) 大正藏に校注なし。
- 166 蓐¹⁶⁶ 蓐【大】 大正藏に校注なし。
- 167 燃¹⁶⁷ 然【大】 大正藏に校注なし。
- 168 坐¹⁶⁸ 座【大】 大正藏に校注なし。
- 169 忽¹⁶⁹ 亦【大】 大正藏に校注なし。

- 3 衛城時難陀憂¹⁷⁰波難陀受人依止不教戒¹⁷¹如
- 4 天牛羊一一如¹⁷²和上中廣說但以阿闍梨
- 5 為異耳
- 6 佛住舍衛城尔時難陀憂¹⁷³波難陀受人依止
- 7 弟子不来師慊¹⁷⁴言世尊獨制我不制弟子弟
- 8 子不来我當教誰如上共行弟子中廣說但
- 9 此中以依止弟子為異耳
- 10 上坐¹⁷⁵布薩事 第二一切然 上坐¹⁷⁶食上法 第二一切然
- 11 和上所教尔¹⁷⁷ 共行應随慎¹⁷⁸ 依止順法教 弟子應奉行
- 12 佛住舍衛城祇洹精舍如来五日一行諸比
- 13 丘房見床處側地風颺¹⁸⁰日暴¹⁸¹雨露其上¹⁸²
- 14 食烏鳥糞上佛知而故問比丘此是誰床處
- 15 處側地烏鳥糞上乃至佛告諸比丘從今日後¹⁸³
- 16 床蓐¹⁸⁴應如是知云何知不得見床處側地
- 17 虫¹⁸⁵噉日暴¹⁸⁶雨露風樹¹⁸⁷烏鳥糞上而置若處處
- 18 者應收檢着¹⁸⁸一處側者當正日暴¹⁸⁹風雨樹¹⁹⁰着¹⁹¹
- 19 房內虫¹⁹²噉者當支脚烏鳥糞上當抖揅¹⁹³內着¹⁹⁴

- 170 憂¹⁷⁰優【大】 大正蔵に校注なし。
- 171 戒¹⁷¹誠【大】 大正蔵に校注なし。
- 172 [上] + 【大】 大正蔵に校注なし。
- 173 憂¹⁷³優【大】 大正蔵に校注なし。
- 174 慊¹⁷⁴嫌【大】 大正蔵に校注なし。
- 175 坐¹⁷⁵座【大】 大正蔵に校注なし。
- 176 坐¹⁷⁶座【大】 大正蔵に校注なし。
- 177 尔¹⁷⁷示【大】 大正蔵に校注なし。
- 178 慎¹⁷⁸順【大】 大正蔵に校注なし。
- 179 [初跋渠竟] + 【大】
- 180 颺¹⁸⁰飄【大】 大正蔵に校注なし。
- 181 暴¹⁸¹曝【大】 大正蔵に校注なし。
- 182 虫¹⁸²蟲【大】 大正蔵に校注なし。
- 183 [後] - 【大】 大正蔵に校注なし。
- 184 蓐¹⁸⁴褥【大】 大正蔵に校注なし。
- 185 虫¹⁸⁵蟲【大】 大正蔵に校注なし。
- 186 暴¹⁸⁶曝【大】 大正蔵に校注なし。
- 187 樹¹⁸⁷飄【大】 大正蔵に校注なし。
- 188 着¹⁸⁸著【大】 大正蔵に校注なし。
- 189 暴¹⁸⁹曝【大】 大正蔵に校注なし。
- 190 樹¹⁹⁰飄【大】 大正蔵に校注なし。
- 191 着¹⁹¹者應著【大】 大正蔵に校注なし。
- 192 虫¹⁹²蟲【大】 大正蔵に校注なし。
- 193 揅¹⁹³揅【大】 大正蔵に校注なし。
- 194 着¹⁹⁴著【大】 大正蔵に校注なし。

- 20 房内¹⁹⁵不得看房舍漏壞不治若草覆者當草
 21 補瓦覆還用瓦補石灰覆者還用石灰補¹⁹⁶
 22 覆者還用¹⁹⁷泥¹⁹⁸補壁破者當泥¹⁹⁹治²⁰⁰臣²⁰⁰摩塗地衆
 23 僧床²⁰¹不得趣尔受用以單故布覆上應以
 24 兩重匠師檀覆上若卧²⁰²具眠時應以物廁裏
 25 不得令近身²⁰³毘²⁰³ [瞿+婁]²⁰⁴ 厚者不得屈²⁰⁵ [專+攵]²⁰⁵ 破²⁰⁶ 壞

(第十一紙) T22-p502c10~

- 1 僧物²⁰⁷蓐²⁰⁷杙²⁰⁷拘執若膩垢²⁰⁸者應浣破者應補
 2 已還成若僧床²⁰⁹蓐²⁰⁹具應如是舉持若不尔
 3 者越威儀法佛住舍衛城祇洹精舍尔時諸
 4 比丘春末月不脩²¹⁰治房舍如来五事利益故五
 5 日一行諸²¹¹房何寺五一者我聲聞²¹²中不貪着²¹³有
 6 為事不²¹⁴不着²¹⁵世俗言論不²¹⁶不着²¹⁷眠睡不²¹⁸為看病
 7 比丘故²¹⁹有信心年少比丘見如来威儀²²⁰序發
 8 歡喜故是名五事行房見房舍破壞不治佛
 9 知而故問比丘是何寺房破壞不治諸比丘
 10 荅言安居比丘自當治事佛言從今日後安居

- 195 内¹⁹⁵中¹⁹⁵【大】
 196 泥¹⁹⁶【大】 大正蔵に校注なし。
 197 [用] - 【大】
 198 泥¹⁹⁸【大】 大正蔵に校注なし。
 199 泥¹⁹⁹【大】 大正蔵に校注なし。
 200 臣²⁰⁰巨²⁰⁰【大】 大正蔵に校注なし。
 201 蓐²⁰¹褥²⁰¹【大】 大正蔵に校注なし。
 202 卧²⁰²臥²⁰²【大】 大正蔵に校注なし。
 203 蓐²⁰³褥²⁰³【大】 大正蔵に校注なし。
 204 [瞿+婁] || 毘²⁰⁴ 【大】 大正蔵に校注なし。
 205 [專+攵] || 敷²⁰⁵ 【大】 大正蔵に校注なし。
 206 大正蔵の校注の内容(破||役(聖))が間違っている。
 207 蓐²⁰⁷褥²⁰⁷【大】 大正蔵に校注なし。
 208 膩垢²⁰⁸||垢膩²⁰⁸【大】 大正蔵に校注なし。
 209 蓐²⁰⁹卧²⁰⁹褥²⁰⁹臥²⁰⁹【大】 大正蔵に校注なし。
 210 脩²¹⁰||修²¹⁰【大】 大正蔵に校注なし。
 211 [比丘] + 【大】
 212 [弟子] + 【大】 大正蔵に校注なし。
 213 着²¹³||著²¹³【大】 大正蔵に校注なし。
 214 [(一)] + 【大】
 215 着²¹⁵||著²¹⁵【大】 大正蔵に校注なし。
 216 [(一)] + 【大】
 217 着²¹⁷||著²¹⁷【大】 大正蔵に校注なし。
 218 [(四)] + 【大】
 219 [(五)] + 【大】
 220 佯²²⁰||庠²²⁰【大】 大正蔵に校注なし。

- 11 時房舍應如是治云何治若安居時欲至不得看房舍破壞不治而言安居人自當治若
- 12 草房者當草覆乃至²²¹泥房者應²²²泥補壁孔
- 13 應²²³泥治當塞鼠孔²²⁴治地房中受用物應聚
- 14 着²²⁵一處五法成就應拜作分房人何等五不隨
- 15 愛不隨瞋不隨癡不隨恚²²⁶不得應知是名
- 16 五羯磨者應作是說大德僧聽某甲比丘五
- 17 法成就若僧時到僧拜某甲作分房人如是
- 18 白白一羯磨乃至僧忍²²⁷然故是事如是持
- 19 是比丘得羯磨已應²²⁸條房温室食堂講堂浴
- 20 室井屋廁屋門屋經行處樹下²²⁹疏記多少若
- 21 阿練若住處離餘住處遠者四月十二日十
- 22 三日應分房舍若不受者應餘處去若多近
- 23 住處者十四日十五日分²³⁰應僧中讀²³¹疏大德
- 24 僧聽某甲精舍有尔所房尔所床²³²尔許²³³齋

(第十一紙) T22_p503a08~

- 1 日飲食有尔所安居衣上²³⁴坐應語分房舍共
- 2 一施應分房從上²³⁵乃至无歳比丘不得与
- 3 沙弥房若和上阿闍梨言但与我當治事應
- 4 与若房長者一人應与兩房若言我不須一
- 5 得一便足應語言不為受用故与為治事故
- 6 与若房少者二人三人共一房如是復²³⁶不受者五人六人共若復不受有大堂者一切盡

221 泥=泥【大】 大正藏に校注なし。
 222 泥=泥【大】 大正藏に校注なし。
 223 泥=泥【大】 大正藏に校注なし。
 224 泥=泥【大】 大正藏に校注なし。
 225 着=著【大】 大正藏に校注なし。
 226 癡不隨恚=怖不隨癡【大】 大正藏に校注なし。
 227 嘿=默【大】 大正藏に校注なし。
 228 條=修【大】 大正藏に校注なし。
 229 疏=疏【大】 大正藏に校注なし。
 230 【房】+【大】 大正藏に校注なし。
 231 疏=疏【大】 大正藏に校注なし。
 232 葶=禱【大】 大正藏に校注なし。
 233 【食爾許】+【大】
 234 坐=座【大】 大正藏に校注なし。
 235 坐=座【大】 大正藏に校注なし。
 236 【復】-【大】 大正藏に校注なし。

- 8 共入大堂若復不受者上坐²³⁷敷大床下坐²³⁸敷
 9 小床若復不受者上坐²³⁹小床下坐草蓐²⁴⁰若復
 10 不受者上坐²⁴¹草蓐²⁴²下坐應跏²⁴³跏坐若復不受
 11 者上坐²⁴⁴跏²⁴⁵跏坐下坐應立若出樹下冬時分
 12 房治事故与受用故与上坐²⁴⁶来喚起便應去
 13 春時分房²⁴⁷²⁴⁸復如是夏時分房治事故与受
 14 用故与上坐²⁴⁹来喚起去不應去若比丘春末
 15 月應如是治房若不如是者越²⁵⁰儀法
 16 佛住舍衛城祇洹精舍尔時世尊五事利益
 17 故五日一行諸比丘房見房舍漏壞不治事
 18 雨潦²⁵¹彌²⁵²滿水瀆不通門戶²⁵³²⁵⁴嗽床蓐²⁵⁵麤清²⁵⁶佛
 19 知而故問比丘是何等房不治漏壞如是乃
 20 至佛言從今日後夏安居中應如是治房舍
 21 床蓐²⁵⁷云何如是治不得見房舍漏壞及以床
 22 蓐²⁵⁸而不治事若草覆者應草補乃至²⁵⁹溼²⁶⁰覆者
 23 溼²⁶¹補通水瀆及長流若²⁶²床蓐²⁶³坐床²⁶⁴溼²⁶⁵生者
 24 應日中²⁶⁶〔火+麗〕²⁶⁷令干²⁶⁸若房內溼²⁶⁹者應合離壁支脚

- 237 坐²³⁷坐²³⁸【大】 大正蔵に校注なし。
 238 坐²³⁸坐²³⁹【大】 大正蔵に校注なし。
 239 坐²³⁹坐²⁴⁰【大】 大正蔵に校注なし。
 240 蓐²⁴⁰蓐²⁴¹【大】 大正蔵に校注なし。
 241 坐²⁴¹坐²⁴²【大】 大正蔵に校注なし。
 242 蓐²⁴²蓐²⁴³【大】 大正蔵に校注なし。
 243 跏²⁴³跏²⁴⁴【大】 大正蔵に校注なし。
 244 坐²⁴⁴坐²⁴⁵【大】 大正蔵に校注なし。
 245 跏²⁴⁵跏²⁴⁶【大】 大正蔵に校注なし。
 246 坐²⁴⁶坐²⁴⁷【大】 大正蔵に校注なし。
 247 坐²⁴⁷坐²⁴⁸【大】 大正蔵に校注なし。
 248 坐²⁴⁸坐²⁴⁹【大】 大正蔵に校注なし。
 249 〔威〕+〔大〕 大正蔵に校注なし。「越」の右下に「威」(朱書)あり。
 250 弥²⁵⁰彌²⁵¹【大】 大正蔵に校注なし。
 251 虫²⁵¹蟲【大】 大正蔵に校注なし。
 252 蓐²⁵²蓐【大】 大正蔵に校注なし。
 253 麤清²⁵³麤青【大】 大正蔵に校注なし。
 254 蓐²⁵⁴蓐【大】 大正蔵に校注なし。
 255 蓐²⁵⁵蓐【大】 大正蔵に校注なし。
 256 溼²⁵⁶泥【大】 大正蔵に校注なし。
 257 溼²⁵⁷泥【大】 大正蔵に校注なし。
 258 卧²⁵⁸臥【大】 大正蔵に校注なし。
 259 蓐²⁵⁹蓐【大】 大正蔵に校注なし。
 260 溼²⁶⁰罽【大】 大正蔵に校注なし。
 261 〔火+麗〕=曬【大】 大正蔵に校注なし。
 262 干²⁶²乾【大】 大正蔵に校注なし。
 263 溼²⁶³濕【大】 大正蔵に校注なし。

25 勿使²⁶⁴虱食應掃屋間〔土十臺〕²⁶⁵悔²⁶⁶虱網²⁶⁷半月應以²⁶⁸臣²⁶⁹

(第十四紙) T22_p503b05~

- 1 摩塗地若²⁷⁰干²⁷¹者應以水洽塗地若²⁷²潔²⁷³者淳用
- 2 臣²⁷⁴摩塗若房內²⁷⁵潔²⁷⁶者不得洗手洗足洗鉢不
- 3 得²⁷⁷閉²⁷⁸戸當時時開戸使風得入²⁷⁹以烟²⁸⁰勳²⁸¹之若
- 4 比丘夏安居房舍當如是治若不如是越威
- 5 儀法佛住舍衛城尔時比丘阿練若處安居竟
- 6 不囑便去後野火來燒房舍諸比丘以是²⁸²目縁
- 7 往白世尊佛言比丘安居竟房舍應如是治
- 8 云何治若比丘在阿練若處安居竟至冬時
- 9 欲移就暖處者不得盡去當求兩人三人堪
- 10 能者令住應与飲食勿令乏²⁸³短²⁸⁴若言不能我
- 11 何故住此空野中為若都无住者若有²⁸⁵枕²⁸⁶蓐²⁸⁷
- 12 拘執銅²⁸⁸鐵²⁸⁹器物一切應寄聚落中精舍²⁹⁰卧²⁹¹床
- 13 坐床當離壁以物支足勿令²⁹²虱²⁹³食安居竟不
- 14 得見房舍漏壞不治事而去若草覆者應草
- 15 補乃至²⁹⁴泥²⁹⁵覆者²⁹⁶泥²⁹⁷補²⁹⁸泥²⁹⁹治房舍作白色壁周
- 16 迎³⁰⁰火當囑託放牧人汝時時与我看視聚
- 17 落中住處³⁰¹忽³⁰²應如是治事若温室講堂食堂

264 虱²⁶⁴ 大正蔵に校注なし。
 265 〔土十臺〕²⁶⁵ 悔²⁶⁶虱網²⁶⁷ 大正蔵に校注なし。
 266 臣²⁶⁸ 大正蔵に校注なし。
 267 干²⁷⁰ 大正蔵に校注なし。
 268 潔²⁷² 大正蔵に校注なし。
 269 臣²⁷⁴ 大正蔵に校注なし。
 270 潔²⁷⁵ 大正蔵に校注なし。
 271 閉²⁷⁷ 大正蔵に校注なし。
 272 〔不得〕+〔大〕
 273 勳²⁷² 大正蔵に校注なし。「勳」の右傍に「熏」(朱書)あり。
 274 短²⁷⁴ 大正蔵に校注なし。
 275 〔床〕+〔大〕 大正蔵に校注なし。
 276 蓐²⁷⁷ 大正蔵に校注なし。
 277 鐵²⁷⁷ 大正蔵に校注なし。
 278 卧²⁷⁸ 大正蔵に校注なし。
 279 虱²⁷⁹ 大正蔵に校注なし。
 280 泥²⁸⁰ 大正蔵に校注なし。
 281 泥²⁸¹ 大正蔵に校注なし。
 282 泥²⁸² 大正蔵に校注なし。
 283 泥²⁸³ 大正蔵に校注なし。
 284 忽²⁸⁴ 大正蔵に校注なし。

- 18 自²⁸⁵汗。灑治事若精舍檀越在者應語令治若
- 19 差人治若无主復不差人者一切僧應治當
- 20 共分人得一肘二肘三肘令周遍²⁸⁶卧。床坐床
- 21 緩壞者應更織令堅若²⁸⁷蓐。杙拘執²⁸⁸卧。具臚應
- 22 浣令淨若破者應補房中受用諸物應聚
- 23 ²⁸⁹着。一處若比丘安居竟房舍床²⁹⁰蓐。應如是治
- 24 若不如是治越威儀法

(第十五紙) T22_p503c01~

- 1 佛住舍衛城尔時世尊五事利益故五日一
- 2 行諸比丘房見²⁹¹卧。床坐床處狼藉側地佛
- 3 知而故問是何等床狼藉不舉荅言世尊是
- 4 舊比丘所安我是客佛言從今日後客比丘應
- 5 如是知云何知乃至不得見²⁹²卧。牀坐牀狼藉
- 6 ²⁹³虱。噉而置若狼藉者應收置一處若側者應
- 7 正以物支足勿使²⁹⁴虱。噉客比丘来至不得便
- 8 持物²⁹⁵着。屋中當放物一處覓舊比丘溷房舍
- 9 已若地不平者應平若有鼠孔者應塞²⁹⁶泥。治
- 10 若有²⁹⁷坭。〔土十每〕²⁹⁸虱網。應掃²⁹⁹卧。牀坐牀若緩者應織
- 11 令急³⁰⁰蓐。杙拘執應抖³⁰¹揅。屋中應以水灑淨掃
- 12 塗地若木衣架者當以物拭令淨若是竹滑
- 13 者以手拭之應看〔木十入十土〕³⁰²。堅者以鉢³⁰³縣。上若半夜

- 285 汗²⁸⁵ 汚【大】 大正蔵に校注なし。
- 286 卧²⁸⁶ 臥【大】 大正蔵に校注なし。
- 287 蓐²⁸⁷ 褥【大】 大正蔵に校注なし。
- 288 卧²⁸⁸ 臥【大】 大正蔵に校注なし。
- 289 着²⁸⁹ 著【大】 大正蔵に校注なし。
- 290 蓐²⁹⁰ 褥【大】 大正蔵に校注なし。
- 291 卧²⁹¹ 臥【大】 大正蔵に校注なし。
- 292 卧²⁹² 臥【大】 大正蔵に校注なし。
- 293 虱²⁹³ 蟲【大】 大正蔵に校注なし。
- 294 虱²⁹⁴ 蟲【大】 大正蔵に校注なし。
- 295 着²⁹⁵ 著【大】 大正蔵に校注なし。
- 296 泥²⁹⁶ 泥【大】 大正蔵に校注なし。
- 297 坭²⁹⁷ 〔土十每〕虱網²⁹⁸ 兼煤蟲網【大】 大正蔵に校注なし。
- 298 卧²⁹⁸ 臥【大】 大正蔵に校注なし。
- 299 蓐²⁹⁹ 褥【大】 大正蔵に校注なし。
- 300 揅³⁰⁰ 揅【大】 大正蔵に校注なし。
- 301 〔木十入十土〕³⁰¹ 壯【大】 大正蔵に校注なし。
- 302 縣³⁰² 懸【大】 大正蔵に校注なし。

- 14 住者³⁰³應如是治竟去客比丘若不如是治越威儀法
- 15 越威儀法
- 16 佛住舍衛城祇洹精舍尔時如來五事利益
- 17 故五日一行諸比丘房乃至³⁰⁴白言世尊是客
- 18 比丘敷置非我舊比丘佛言從今已後舊比丘應如是知云何³⁰⁵如是知舊比丘不得令床敷
- 20 處處棄損³⁰⁶令虫³⁰⁷噉食而置若處處星散者應
- 21 聚一處若³⁰⁸虫噉者當以物支足舊比丘法不得自住好房床³⁰⁹杙留弊壞垢膩者待客比丘來自
- 22 當治當脩³¹⁰治好者待客比丘應³¹¹比丘應如是知若不如是越威儀法

(第十六紙) T22_p503c25~

- 1 佛住舍衛城祇桓精舍如來五事利益故五
- 2 日一行諸比丘房乃至佛見已知而故問比
- 3 丘是誰牀敷荅言世尊是舊比丘敷我方始
- 4 住佛言從今已後牀敷一切比丘應如是知
- 5 云何知一切比丘不得令牀³¹²處處雨露日
- 6 炙³¹³噉若見散在地者應聚³¹⁴一處若雨露
- 7 日炙者應安覆處若³¹⁵噉者當支足若房舍
- 8 漏壞者應覆草覆者草補乃至³¹⁶泥覆者³¹⁷泥
- 9 補壁³¹⁸穿³¹⁹壞者當補治³²⁰地若牀³²¹杙³²²杙拘執垢

- 303 忽³⁰³亦【大】 大正蔵に校注なし。
- 304 〔白〕一【大】 大正蔵に校注なし。
- 305 〔如是〕一【大】 大正蔵に校注なし。
- 306 損³⁰⁶捐【大】 大正蔵に校注なし。
- 307 虫³⁰⁷蟲【大】 大正蔵に校注なし。
- 308 虫³⁰⁸蟲【大】 大正蔵に校注なし。
- 309 蓐³⁰⁹褥【大】 大正蔵に校注なし。
- 310 脩³¹⁰修【大】 大正蔵に校注なし。
- 311 應³¹¹舊【大】 大正蔵に校注なし。
- 312 蓐³¹²褥【大】 大正蔵に校注なし。
- 313 虫³¹³蟲【大】 大正蔵に校注なし。
- 314 着³¹⁴著【大】 大正蔵に校注なし。
- 315 虫³¹⁵蟲【大】 大正蔵に校注なし。
- 316 泥³¹⁶泥【大】 大正蔵に校注なし。
- 317 泥³¹⁷泥【大】 大正蔵に校注なし。
- 318 穿³¹⁸穿【大】 大正蔵に校注なし。
- 319 泥³¹⁹泥【大】 大正蔵に校注なし。
- 320 蓐³²⁰褥【大】 大正蔵に校注なし。

- 10 膩破壞者不得看置應浣染補治内毳當**擗**³²¹
- 11 還櫪牀繩緩者當織令堅緻打撻椎治牀**葶**³²²時
- 12 不得徐徐來應疾往集集已應當共治有應
- 13 作繩者有應織者當共作若分者各自持去
- 14 若如是打撻椎治牀**葶**³²³時不得言我是阿練
- 15 若我乞食我大德我是上**坐**³²⁴不能治此中受
- 16 用者自當治一切盡集共治有繩**緹**³²⁵者有縫
- 17 者有上色者比丘應如是一切治若不如是
- 18 越威儀法
- 19 佛住舍衛城尔時諸比丘處處大便為世人
- 20 所**慊**³²⁶云何沙門釋子似如牛驢便右无常處
- 21 諸比丘以是回緣往白世尊佛言從今**以**³²⁷後
- 22 應作廁屋廁屋不得在東在北應在南在西
- 23 開風道作法者若作坑若依高**坑**³²⁸若坑底有
- 24 水出者當使淨人先起止中然後比丘行若
- 25 **臨坑**³²⁹上底有流水者應安板令先墮板上後

(第十七紙) T22_p504a21~

- 1 **隨**³³⁰水中應作兩孔三孔孔廣一不舒手長一肘
- 2 半屋中應安隔使兩不相見邊安廁**札**³³¹屋下
- 3 應安衣架尔時有比丘先在廁上後有比丘
- 4 急行入廁便欲在先比丘上行彼比丘言長
- 5 老莫**汗**³³²我比丘以是回緣往白世尊佛言從
- 6 今日後上廁法應如是知云何如是知不得
- 7 臨急已然後上廁應當如覺欲行便往往時

321 **擗**〔大〕 大正蔵に校注なし。
 322 **葶**〔大〕 大正蔵に校注なし。
 323 **葶**〔大〕 大正蔵に校注なし。
 324 **坐**〔大〕 大正蔵に校注なし。
 325 **緹**〔大〕 大正蔵に校注なし。
 326 **慊**〔大〕 大正蔵に校注なし。
 327 **以**〔大〕 大正蔵に校注の内容は、(已)〔以〕〔聖〕*となっている。
 328 **坑**〔大〕 大正蔵に校注なし。
 329 **坑**〔大〕 大正蔵に校注なし。
 330 **隨**〔大〕 大正蔵に校注なし。
 331 **札**〔大〕 大正蔵に校注なし。
 332 **汗**〔大〕 大正蔵に校注なし。

- 8 不得³³³嘿³³³。然入應彈指若內有人³³⁴忽³³⁴。應³³⁵送³³⁵彈指若大急者應背³³⁶存³³⁶。先人應相³³⁷客³³⁷。處不得未³³⁸至便高舉衣來當隨下³³⁸隨³³⁸騫³³⁸。不得³³⁹着³³⁹。僧³⁴⁰卧³⁴⁰。具³⁴¹上廁不得廁上嚼齒木覆頭覆右肩應當³⁴¹徧³⁴¹。袒不得在中誦經禪定不淨觀及以睡眠令妨³⁴²。餘人起時不得高舉衣起去應隨下隨起³⁴³。復次尔時諸比丘用竹作³⁴⁴籌草傷破身諸比丘以是³⁴⁵口緣往白世尊佛言從今已後不聽³⁴⁶。竹片箠片木³⁴⁷札³⁴⁷。及骨應用滑物圓物不得用³⁴⁸。已放廁中應土毗夜³⁴⁹買³⁴⁹。一處若是深坑高³⁴⁴垢³⁴⁴。放中无罪大小行及涕唾當使正墮孔中不³⁴⁵得³⁴⁵汗³⁴⁵。兩邊若前人³⁴⁶汗³⁴⁶者當以木³⁴⁷除令淨不得³⁴⁸大小行已不用水而受用僧坐具³⁴⁹牀³⁴⁹。應安³⁵⁰水瓶若是坑者不得就中用水若³⁵¹臨³⁵¹垢³⁵¹者得³⁵²用當用木石瓦作瓶蓋年少比丘次第益水³⁵³。時時當洗瓶若木蓋者不得日中曬勿令破³⁵⁴。若是瓦石者得³⁵⁵着³⁵⁵。日中曬廁邊應³⁵⁶着³⁵⁶。灰土³⁵⁷臣³⁵⁷。磨³⁵⁸。若水噐有³⁵⁹虫³⁵⁹者不得言此中有³⁶⁰虫³⁶⁰當持草

- 333 嘿³³³ 默³³³【大】 大正藏に校注なし。
 334 忽³³⁴ 亦³³⁴【大】 大正藏に校注なし。
 335 送³³⁵ 逆³³⁵【大】 大正藏に校注なし。
 336 存³³⁶ 蹲³³⁶【大】 大正藏に校注なし。
 337 客³³⁷ 容³³⁷【大】 大正藏に校注なし。
 338 騫³³⁸ 褻³³⁸【大】 大正藏に校注なし。
 339 着³³⁹ 著³³⁹【大】 大正藏に校注なし。
 340 卧³⁴⁰ 臥³⁴⁰【大】 大正藏に校注なし。
 341 徧³⁴¹ 徧³⁴¹【大】 大正藏に校注なし。
 342 札³⁴² 札³⁴²【大】 大正藏に校注なし。
 343 買³⁴³ 置³⁴³【大】 大正藏に校注なし。
 344 垢³⁴⁴ 岸³⁴⁴【大】 大正藏に校注なし。
 345 汗³⁴⁵ 汚³⁴⁵【大】 大正藏に校注なし。
 346 汗³⁴⁶ 汚³⁴⁶【大】 大正藏に校注なし。
 347 【箠】+【大】 大正藏に校注なし。
 348 蓐³⁴⁸ 褥³⁴⁸【大】 大正藏に校注なし。
 349 垢³⁴⁹ 岸³⁴⁹【大】 大正藏に校注なし。
 350 着³⁵⁰ 著³⁵⁰【大】 大正藏に校注なし。
 351 着³⁵¹ 著³⁵¹【大】 大正藏に校注なし。
 352 臣³⁵² 巨³⁵²【大】 大正藏に校注なし。
 353 磨³⁵³ 摩³⁵³【大】 大正藏に校注なし。
 354 虫³⁵⁴ 虫³⁵⁴【大】 大正藏に校注なし。
 355 虫³⁵⁵ 虫³⁵⁵【大】 大正藏に校注なし。

(第十八紙) T22_p504b17~

- 1 横上令知有**虫**³⁵⁶相不得多用水應裁量用若
- 2 瓶水盡者當語知水家使人益若自益下至
- 3 一**塗**³⁵⁷〔**シ**十目十目+皿〕³⁵⁸水令得一人用若下部痔**奪**³⁵⁹病不得
- 4 洗者當用**濡**³⁶⁰物拭若布若樹葉³⁶¹无厠屋者應
- 5 在房後若壁**下**³⁶²便右不得並嚼楊枝及覆頭
- 6 覆肩應**徧**³⁶³袒若夜患下者應以瓦器盛棄之
- 7 若无器者當在水瀆邊明當**先**³⁶⁴去若温室講
- 8 堂中**奔**³⁶⁵下者當出若大急不得去者當在一處
- 9 不得如牛随行随放曉當却水洗處持油
- 10 塗之下至**臣**³⁶⁶**磨**³⁶⁷若繞塔時腹痛下者應當去
- 11 若大急者應在一處不得如牛**汗**³⁶⁸脚而去竟
- 12 已當除去水洗香**塗泥**³⁶⁹之若阿練若處无香
- 13 者當持油塗之若欲入聚落當先便右已而
- 14 去入聚落中若大行者應往丈夫厠上不得
- 15 入女人厠若无者應問人求随所安處問時
- 16 不得問年少婦女聞已當**啖**³⁷⁰應問長宿若復
- 17 无者當入空舍入時不得在**淺路**³⁷¹處不得深
- 18 處使人謂呼是賊若復无者應在道邊**墻**³⁷²下
- 19 若有伴者令背向**彰**³⁷³若共賈客行時大便秘
- 20 應下道勿在上風**勲**³⁷⁴人應在下風若宿時欲

- 356 虫ニ蟲【大】 大正蔵に校注なし。
- 357 塗ニ燥【大】 大正蔵に校注なし。
- 358 〔**シ**十目十目+皿〕ニ罐【大】 大正蔵に校注なし。
- 359 奪ニ脫【大】 大正蔵に校注なし。
- 360 濡ニ軟【大】 大正蔵に校注なし。
- 361 〔**若**〕+【大】 大正蔵に校注なし。
- 362 下ニ不【大】 大正蔵に校注なし。
- 363 徧ニ徧【大】 大正蔵に校注なし。
- 364 先ニ洗【大】 大正蔵に校注なし。
- 365 奔ニ卒【大】 大正蔵に校注なし。
- 366 臣ニ巨【大】 大正蔵に校注なし。
- 367 磨ニ摩【大】 大正蔵に校注なし。
- 368 汗ニ汚【大】 大正蔵に校注なし。
- 369 塗泥ニ泥塗【大】 大正蔵に校注なし。
- 370 啖ニ笑【大】 大正蔵に校注なし。
- 371 路ニ露【大】 大正蔵に校注なし。
- 372 墻ニ墻【大】 大正蔵に校注なし。
- 373 彰ニ障【大】 大正蔵に校注なし。
- 374 勲ニ熏【大】 大正蔵に校注なし。「勲」の右傍に「熏」(朱書)あり。

- 21 便右者不得³⁷⁵嘿然去當語買客勿呼是賊³⁷⁶ 然去當語買客勿呼是賊³⁷⁶
- 22 當在下風不得在上風若隨買客³⁷⁷ 船上行時
- 23 若大便秘者當到大行處應用木板³⁷⁸ 下令先
- 24 墮木上然後墮水中³⁷⁹ 若无木者乃至一廁草³⁸⁰ 若無廁草當用瓦器盛已棄之若塔³⁸¹ 僧³⁸² 若無廁草當用瓦器盛已棄之若塔³⁸¹ 僧³⁸² 若無廁草當用瓦器盛已棄之若塔³⁸¹ 僧³⁸²

(第十九紙) T22_p504c13~

- 1 内見不淨者應除去若二人共行見者下坐應
- 2 除若下坐持戒緩者當自除若被毒醫言應
- 3 服大便汗若自己許不須復受若他許者當
- 4 受若比丘在廁上應如是若不如是越威儀
- 5 法佛住舍衛城尔時諸比丘處處小行為世人
- 6 所嫌³⁸³云何沙門釋子如牛驢處處小行此壞
- 7 敗人何道之有乃至佛言從今已後應作小
- 8 行處作法者不得在北在東應在南在西開
- 9 風道時有比丘小便³⁸⁴復有比丘來於上欲小
- 10 便先比丘言長老莫汗³⁸⁵我諸比丘以是目緣
- 11 往白世尊佛言從今已後小便法應如是知
- 12 云何如是³⁸⁶知³⁸⁷得臨急然後去如覺欲行當去
- 13 應先彈指若先有人者³⁸⁸彈指若急者應
- 14 背先人先人應客³⁸⁹處不得覆頭覆肩並嚼齒
- 15 木應徧³⁹⁰袒右肩當上行不得在上禪定眠睡
- 16 誦經及不淨觀以妨後人竟當時去若无小

³⁷⁵ 嘿||默【大】 大正藏に校注なし。
³⁷⁶ 忽||亦【大】 大正藏に校注なし。
³⁷⁷ 船||船【大】 大正藏に校注なし。
³⁷⁸ 着||著【大】 大正藏に校注なし。
³⁷⁹ [中] - 【大】 大正藏に校注なし。
³⁸⁰ 兼||承【大】 大正藏に校注なし。
³⁸¹ [土+爰] ||院【大】 大正藏に校注なし。
³⁸² [土+爰] ||院【大】 大正藏に校注なし。
³⁸³ 嫌||嫌【大】 大正藏に校注なし。
³⁸⁴ 便||行【大】 大正藏に校注なし。
³⁸⁵ 汗||汚【大】 大正藏に校注なし。
³⁸⁶ [如是] - 【大】 大正藏に校注なし。
³⁸⁷ [不] + 【大】 大正藏に校注なし。
³⁸⁸ 忽送||亦逆【大】 大正藏に校注なし。
³⁸⁹ 客||容【大】 大正藏に校注なし。
³⁹⁰ 徧||徧【大】 大正藏に校注なし。

- 17 便處者應以豐盛覺³⁹¹上當安寢³⁹²底甌別一甌
- 18 中行以寫³⁹³中若无甌者當用木杓寫³⁹⁴中不得
- 19 大行涕唾中年少比丘次第棄之棄時當着³⁹⁵
- 20 屏處不得棄塔〔土十爰〕³⁹⁶上流中寫³⁹⁷已當水洗覆地
- 21 若无者應³⁹⁸求器若是瓦者應³⁹⁹洗已覆地若木
- 22 者洗已着⁴⁰⁰陰中勿令破當施結⁴⁰¹夜當內着⁴⁰²牀下
- 23 若无器者水瀆邊小便不得在塔上流若温室
- 24 講堂上欲小便時應出若急失者不得行失小
- 25 便當住一處訖然後以水洗油塗乃至臣⁴⁰³摩若

(第十一十紙) T22_p505a10~

- 1 繞塔欲小便者應去若急者不得並行應住
- 2 一處訖以水洗之香塗若阿練若處无香者
- 3 當用油塗若欲入聚落當先小便已而去若
- 4 聚落中欲小便者當在屏處若急不得至屏
- 5 處者當向墻⁴⁰⁴若有伴應背向鄣⁴⁰⁵若共賈客道
- 6 行欲小便者當在下風不得上風若夜宿時
- 7 小便者當在下風起時當語人令知勿令人
- 8 呼是賊若舩⁴⁰⁶行者當至小便處若无者當小
- 9 便器中已寫⁴⁰⁷棄比丘病醫言當服小便者不
- 10 得取初後應取中若自己許兼取即名受若
- 11 在地及他許當受小便法應如是若不如是
- 12 越威儀法

- 391 覺³⁹¹ 大正蔵に校注なし。
- 392 穿³⁹² 大正蔵に校注なし。
- 393 寫³⁹³ 大正蔵に校注なし。
- 394 寫³⁹⁴ 大正蔵に校注なし。
- 395 着³⁹⁵ 大正蔵に校注なし。
- 396 〔土十爰〕³⁹⁶ 大正蔵に校注なし。
- 397 寫³⁹⁷ 大正蔵に校注なし。
- 398 〔人人〕+〔大〕³⁹⁸ 大正蔵に校注なし。
- 399 〔應〕-〔大〕³⁹⁹ 大正蔵に校注なし。
- 400 着⁴⁰⁰ 大正蔵に校注なし。
- 401 結⁴⁰¹ 大正蔵に校注なし。
- 402 着⁴⁰² 大正蔵に校注なし。
- 403 臣⁴⁰³ 大正蔵に校注なし。
- 404 墻⁴⁰⁴ 大正蔵に校注なし。
- 405 鄣⁴⁰⁵ 大正蔵に校注なし。
- 406 舩⁴⁰⁶ 大正蔵に校注なし。
- 407 寫⁴⁰⁷ 大正蔵に校注なし。

- 13 佛住舍衛城尔時六羣比丘嚼未断治齒木
 14 為世人所嫌⁴¹⁸云何沙門釋子如凶惡人合枝
 15 櫛⁴¹⁹嚼齒木諸比丘以是目緣往白世尊佛言
 16 從今日後不聽用齒木復次佛住舍衛城尔
 17 時世尊大會說法時比丘口鼻⁴²⁰在下風⁴²¹而住
 18 佛知而故問是何比丘獨在一處如嫌⁴²²恨人
 19 比丘荅言世尊制戒不聽嚼齒木口鼻⁴²³恐勳⁴²⁴
 20 諸梵行人故在下風住⁴²⁵佛言聽用齒木應量
 21 用極長者長十六指復次尔時有檀越在阿
 22 練若處種樹比丘拔取作齒木用主見已心生
 23 不悅即往佛所以是目緣而白世尊佛為隨
 24 愼⁴²⁶說法發喜心已礼佛而退佛言呼是比丘

(第111紙) T22_p505b06~

- 1 来比丘来已佛言⁴²⁷汝實尔不荅言實尔佛言
 2 汝云何取華菓⁴²⁸樹作齒木從今已後不聽用
 3 華菓⁴²⁹樹作齒木嚼時不得在温室講堂食屋
 4 及僧前和上阿闍梨前塔前像前不得覆頭
 5 覆右⁴³⁰肩應徧⁴³¹袒右肩在屏處若僧房內者應
 6 以器⁴³²羞⁴³³嚼殘餘不得着⁴³⁴器中不得着⁴³⁵塔⁴³⁶〔土+爰〕⁴³⁷中
 7 僧〔土+爰〕⁴³⁸中常行處刮舌時不得如姪欲人法刮已
 8 當洗着⁴³⁹一處若齒木難得者當截所嚼處棄之

- 408 嫌⁴⁰⁸徧⁴⁰⁹嫌⁴¹⁰【大】 大正蔵に校注なし。
 409 櫛⁴⁰⁹徧⁴¹⁰條⁴¹¹【大】 大正蔵に校注なし。
 410 鼻⁴¹⁰徧⁴¹¹臭⁴¹²【大】 大正蔵に校注なし。
 411 大正蔵の校注の内容(風+(住)〔聖〕)が間違えている。
 412 嫌⁴¹²徧⁴¹³嫌⁴¹⁴【大】 大正蔵に校注なし。
 413 鼻⁴¹³徧⁴¹⁴臭⁴¹⁵【大】 大正蔵に校注なし。
 414 勳⁴¹⁴徧⁴¹⁵熏⁴¹⁶【大】 大正蔵に校注なし。
 415 〔住〕-【大】 大正蔵に校注なし。
 416 愼⁴¹⁶徧⁴¹⁷順⁴¹⁸【大】 大正蔵に校注なし。
 417 言⁴¹⁷徧⁴¹⁸問⁴¹⁹【大】 大正蔵に校注なし。
 418 菓⁴¹⁸徧⁴¹⁹果⁴²⁰【大】 大正蔵に校注なし。
 419 華菓⁴¹⁹徧⁴²⁰花果⁴²¹【大】 大正蔵に校注なし。
 420 〔右〕-【大】 大正蔵に校注なし。
 421 徧⁴²¹徧⁴²²徧⁴²³【大】 大正蔵に校注なし。
 422 兼⁴²²徧⁴²³盛⁴²⁴【大】 大正蔵に校注なし。
 423 着⁴²³徧⁴²⁴著⁴²⁵【大】 大正蔵に校注なし。
 424 着⁴²⁴徧⁴²⁵著⁴²⁶【大】 大正蔵に校注なし。
 425 〔土+爰〕徧⁴²⁶院⁴²⁷【大】 大正蔵に校注なし。
 426 〔土+爰〕徧⁴²⁷院⁴²⁸【大】 大正蔵に校注なし。
 427 着⁴²⁷徧⁴²⁸著⁴²⁹【大】 大正蔵に校注なし。

- 9 洗已殘者明日更用復次尔時有比丘嚼齒
 10 木欲盡見世尊来以恭敬故⁴²⁹之細木着⁴³⁰咽
 11 喉不樂諸比丘以是目緣往白世尊佛言從今
 12 以後⁴³¹不聽嚼盡極長者十六指極短⁴³²者四指
 13 以上⁴³³嚼時當在屏處先淨洗手齒木嚼已水
 14 洗棄之用時不得如姪欲人當以除口臭⁴³⁴穢
 15 故嚼時不得咽⁴³⁵汗若設咽⁴³⁶者无罪比丘病若醫
 16 言嚼齒木咽⁴³⁷之當差應受已嚼咽⁴³⁸若无齒木
 17 者當用⁴³⁹灰魯⁴⁴⁰土埽⁴⁴¹石草木洗口已食若塔
 18 〔土十爰〕⁴⁴²僧〔土十爰〕⁴⁴³中見所嚼齒木當取棄之若二人共見
 19 小者應棄若下坐持戒緩者當自取棄之齒
 20 木法應如是若不如是越威儀法
 21 牀敷春末月 安居坐已竟 客比丘并舊 一切⁴⁴⁴復然
 22 廁屋大小便 齒木二跋渠
 23 佛住舍衛城如來五事利益故五日一行諸
 24 比丘房見比丘敷衣地補佛言從今日應作

(第111紙) T22_p505c03~

- 1 磨作法應用竹箆長十肘廣六肘欲縫衣時
 2 應在講堂上若温室禪坊中敷磨已張衣上
 3 縫⁴⁴⁵當洗脚坐上若不洗當背坐上勿令脚近
 4 不得在上曬穀曬衣染衣不得使日炙雨露

- 428 咽⁴²⁸咽【大】 大正蔵に校注なし。
 429 着⁴²⁹著【大】 大正蔵に校注なし。
 430 咽⁴³⁰咽【大】 大正蔵に校注なし。
 431 以⁴³¹已【大】 大正蔵に校注なし。
 432 短⁴³²短【大】 大正蔵に校注なし。
 433 以⁴³³已【大】 大正蔵に校注なし。
 434 鼻⁴³⁴鼻【大】 大正蔵に校注なし。
 435 咽⁴³⁵咽【大】 大正蔵に校注なし。
 436 設咽⁴³⁶誤咽【大】 大正蔵に校注なし。
 437 咽⁴³⁷咽【大】 大正蔵に校注なし。
 438 咽⁴³⁸咽【大】 大正蔵に校注なし。
 439 大正蔵の校注の内容(用⁴³⁹時(聖))が間違えている。
 440 魯⁴⁴⁰齒【大】 大正蔵に校注なし。
 441 土⁴⁴¹埽【大】 大正蔵に校注なし。
 442 〔土十爰〕⁴⁴²院【大】 大正蔵に校注なし。
 443 〔土十爰〕⁴⁴³院【大】 大正蔵に校注なし。
 444 忽⁴⁴⁴亦【大】 大正蔵に校注なし。
 445 縫⁴⁴⁵縫【大】 大正蔵に校注なし。

- 5 邊⁴⁴⁶ 獸汗⁴⁴⁷ 上⁴⁴⁸ 縫⁴⁴⁹ 衣竟當內着⁴⁵⁰ 覆處若无磨者應在
- 6 牀上作若復无者温室講堂上⁴⁵¹ 臣⁴⁵² 摩塗地⁴⁵³ 縫⁴⁵⁴
- 7 縫⁴⁵⁵ 衣時應如是若不如是越威儀法
- 8 佛住舍衛城尔時比丘坐禪還持冷脚⁴⁵⁶ 慰⁴⁵⁷ 他
- 9 彼比丘心驚不安諸比丘以是目緣往白世
- 10 尊佛言從今已後當作⁴⁵⁸ 鄣⁴⁵⁹ 隔作法者應用簞
- 11 竹若⁴⁶⁰ 褥⁴⁶¹ 豎四角施⁴⁶² 憊⁴⁶³ 繩繫坐禪還時開入中
- 12 還⁴⁶⁴ 閉⁴⁶⁵ 不得晝⁴⁶⁶ 閉⁴⁶⁷ 應舉夜當下⁴⁶⁸ 鄣⁴⁶⁹ 隔法應如是
- 13 若不如是越威儀法
- 14 佛住舍衛城尔時世尊五事利益故五日一
- 15 行諸比丘房見房舍漏壞不治佛知而故問
- 16 是何房舍漏壞乃尔從今日後房舍應如是
- 17 知云何如是⁴⁷⁰ 不聽見房舍漏壞不治若草覆
- 18 者草補乃至⁴⁷¹ 濕⁴⁷² 覆者⁴⁷³ 濕⁴⁷⁴ 補應時時掃屋間⁴⁷⁵ 虫⁴⁷⁶
- 19 網⁴⁷⁷ 塵埃地高下者應平治塞鼠孔⁴⁷⁸ 濕⁴⁷⁹ 治半月
- 20 當一⁴⁸⁰ 臣⁴⁸¹ 摩塗地若地⁴⁸² 燥⁴⁸³ 者當水和塗若⁴⁸⁴ 濕⁴⁸⁵ 者
- 21 淳用若是上屋地作紺青色者當以物⁴⁸⁶ 裹⁴⁸⁷ 牀

- 446 邊⁴⁴⁶ 鳥⁴⁴⁷ 【大】 大正蔵に校注なし。
- 447 汗⁴⁴⁸ 汚⁴⁴⁹ 【大】 大正蔵に校注なし。
- 448 縫⁴⁴⁹ 縫⁴⁵⁰ 【大】 大正蔵に校注なし。
- 449 着⁴⁵¹ 著⁴⁵² 【大】 大正蔵に校注なし。
- 450 臣⁴⁵³ 巨⁴⁵⁴ 【大】 大正蔵に校注なし。
- 451 縫⁴⁵⁵ 縫⁴⁵⁶ 【大】 大正蔵に校注なし。
- 452 縫⁴⁵⁷ 縫⁴⁵⁸ 【大】 大正蔵に校注なし。
- 453 慰⁴⁵⁹ 熨⁴⁶⁰ 【大】 大正蔵に校注なし。
- 454 鄣⁴⁶¹ 障⁴⁶² 【大】 大正蔵に校注なし。
- 455 褥⁴⁶³ 施⁴⁶⁴ 【大】 大正蔵に校注なし。
- 456 憊⁴⁶⁵ 簾⁴⁶⁶ 【大】 大正蔵に校注なし。
- 457 閉⁴⁶⁷ 閉⁴⁶⁸ 【大】 大正蔵に校注なし。
- 458 閉⁴⁶⁹ 閉⁴⁷⁰ 【大】 大正蔵に校注なし。
- 459 鄣⁴⁷¹ 障⁴⁷² 【大】 大正蔵に校注なし。
- 460 【知】+【大】 大正蔵に校注なし。
- 461 濕⁴⁷³ 泥⁴⁷⁴ 【大】 大正蔵に校注なし。
- 462 濕⁴⁷⁵ 泥⁴⁷⁶ 【大】 大正蔵に校注なし。
- 463 虫⁴⁷⁷ 蟲⁴⁷⁸ 【大】 大正蔵に校注なし。
- 464 網⁴⁷⁹ 網⁴⁸⁰ 【大】 大正蔵に校注なし。
- 465 濕⁴⁸¹ 泥⁴⁸² 【大】 大正蔵に校注なし。
- 466 臣⁴⁸³ 巨⁴⁸⁴ 【大】 大正蔵に校注なし。
- 467 燥⁴⁸⁵ 燥⁴⁸⁶ 【大】 大正蔵に校注なし。
- 468 濕⁴⁸⁷ 濕⁴⁸⁸ 【大】 大正蔵に校注なし。
- 469 裹⁴⁸⁹ 裹⁴⁹⁰ 【大】 大正蔵に校注なし。「裹」の右傍に「裹」(朱書)あり。

- 22 足不得在中燃⁴⁷⁰ 燈經行及着⁴⁷¹ 草蓆⁴⁷² 不得唾地
 23 當用唾壺若是中屋者得洗足手面蕩⁴⁷³ 鉢下
 24 屋者得燃⁴⁷⁴ 燈經行洗手足面蕩⁴⁷⁵ 鉢房舍應如
 25 是若不如是越威儀法

(第111紙) T22_p505c29~

- 1 佛住舍衛城尔時世尊五日一行諸比丘房
 2 見房舍講堂壁上涕唾淋漓垂地佛知而故
 3 問是何涕唾不淨乃尔佛言從今日後涕唾
 4 法應如是知云何如是知壁溼⁴⁷⁶ 已不溼⁴⁷⁷ 盡不
 5 得唾若地不溼⁴⁷⁸ 者當唾一處以脚磨之不得
 6 處處汗⁴⁷⁹ 若作地者應用唾壺底當安沙若灰
 7 薑⁴⁸⁰ 石當數棄之勿令鼻⁴⁸¹ 穢生虫⁴⁸² 清涓⁴⁸³ 淨洗覆
 8 干⁴⁸⁴ 不得在中嚼齒木若禪坊中欲唾者應唾
 9 草蓆⁴⁸⁵ 底拭地若地有覆者當用唾壺若在食
 10 上欲唾者不得大郝⁴⁸⁶ 着⁴⁸⁷ 地使比坐比丘惡心
 11 應唾兩足中間以脚磨之若大多出不止者當
 12 出外唾已還坐若和上阿闍梨前欲唾者當
 13 至屏處若聚落中欲唾者應唾足邊以脚磨
 14 之若是末土⁴⁸⁸ 无罪若塔〔土十爰〕⁴⁹⁰ 中僧〔土十爰〕⁴⁹¹ 中見涕唾

- 470 燃燃【大】 大正藏に校注なし。
 471 着着【大】 大正藏に校注なし。
 472 蓆蓆【大】 大正藏に校注なし。
 473 〔洗〕+【大】 大正藏に校注なし。
 474 蕩蕩【大】 大正藏に校注なし。
 475 燃燃【大】 大正藏に校注なし。
 476 蕩蕩【大】 大正藏に校注なし。
 477 溼溼【大】 大正藏に校注なし。
 478 溼溼【大】 大正藏に校注なし。
 479 溼溼【大】 大正藏に校注なし。
 480 汗汗【大】 大正藏に校注なし。
 481 薑薑【大】 大正藏に校注なし。
 482 鼻鼻【大】 大正藏に校注なし。
 483 虫虫【大】 大正藏に校注なし。
 484 涓涓【大】 大正藏に校注なし。
 485 干干【大】 大正藏に校注なし。
 486 蓆蓆【大】 大正藏に校注なし。
 487 郝郝【大】 大正藏に校注なし。
 488 着着【大】 大正藏に校注なし。
 489 土土【大】 大正藏に校注なし。
 490 〔土十爰〕 大正藏に校注なし。
 491 〔土十爰〕 大正藏に校注なし。

- 15 者應以足磨之若二人共見小者應磨若小
- 16 者持戒緩者當自磨⁴⁹³比丘唾時應如是若不
- 17 如是越威儀法
- 18 佛住舍衛城尔時比丘舉鉢着⁴⁹³向孔中旋風
- 19 來吹墮地即破聞食粥捷椎聲⁴⁹⁴取鉢正見一
- 20 聚碎瓦諸比丘以是曰緣往白世尊佛言呼
- 21 是比丘來來已佛問比丘汝實尔不荅言實
- 22 尔佛言從今日後鉢應如是知云何如是⁴⁹⁵知不
- 23 得舉着⁴⁹⁶向孔中⁴⁹⁷坼邊危處不得着⁴⁹⁸開戶扇處
- 24 及行來處不得用灰洗令脫色當用樹葉汁
- 25 无沙⁴⁹⁹臣磨洗洗時不得在坼⁵⁰⁰邊危處石上埽

(第十四紙) T22_p506a25~

- 1 上不得在多羅樹下迦毗陀樹下那梨樹下
- 2 洗鉢應踞坐若互⁵⁰¹跪離地一卓⁵⁰²手應先洗和
- 3 上阿闍梨鉢然後自洗不得持自鉢中殘水
- 4 寫⁵⁰³和上阿闍梨鉢中當持和上阿闍梨鉢中
- 5 殘水洗已鉢干⁵⁰⁴時⁵⁰⁵先于⁵⁰⁶和上阿闍梨鉢盛
- 6 時應先盛和上阿闍梨鉢盛時當踞坐持鉢
- 7 囊帶申臂着⁵⁰⁷膝上盛之若着⁵⁰⁸卧⁵⁰⁹牀上若坐牀
- 8 上鉢囊當⁵¹⁰兩重三重作欲懸鉢時當先搖掇

492 摩[〓]磨[〓]【大】 大正藏に校注なし。
 493 着[〓]著[〓]【大】 大正藏に校注なし。
 494 〔欲〕+〔大〕 大正藏に校注なし。
 495 〔如是〕-〔大〕 大正藏に校注なし。
 496 着[〓]著[〓]【大】 大正藏に校注なし。
 497 坼[〓]岸[〓]【大】 大正藏に校注なし。
 498 着[〓]著[〓]【大】 大正藏に校注なし。
 499 臣[〓]巨[〓]【大】 大正藏に校注なし。「臣」の中央に見せ消ち(朱点)あり、右傍に「巨」(朱書)あり。

500 坼[〓]岸[〓]【大】 大正藏に校注なし。
 501 互[〓]胡[〓]【大】 大正藏に校注なし。
 502 卓[〓]揲[〓]【大】 大正藏の校注の内容は、(揲[〓]磔[〓](三)〔宮〕、卓〔聖])となっている。
 503 寫[〓]瀉[〓]【大】 大正藏に校注なし。
 504 干[〓]乾[〓]【大】 大正藏に校注なし。
 505 忽[〓]亦[〓]【大】 大正藏に校注なし。
 506 于[〓]收[〓]【大】 大正藏に校注なし。
 507 着[〓]著[〓]【大】 大正藏に校注なし。
 508 着[〓]著[〓]【大】 大正藏に校注なし。
 509 卧[〓]卧[〓]【大】 大正藏に校注なし。
 510 〔用〕+〔大〕 大正藏に校注なし。

- 9 **〔木十入十土〕**⁵¹¹ 堅不然後安之若无懸處者當**着**⁵¹²牀上若向中有籠蔬遮者得安若有鉢**堪**⁵¹³者得安勿
- 10 令相**棠**⁵¹⁴鉢**堪**⁵¹⁵當作緣不得闍中取鉢不得不
- 11 淨手取應淨洗手若以葉捻取取鉢時一手
- 12 捉兩一手捉一不得捉四授鉢時不得卒放
- 13 應問言捉未若言捉已乃放不得持鉢盛不
- 14 淨物**𤇀**⁵¹⁶不得用盛水剃髮洗**足手**⁵¹⁷面浴室中
- 15 用及洗小便處用護鉢如護眼應當如是若
- 16 不如是越威儀法
- 17 佛住舍衛城尔時六羣比丘皆毀粥若見薄
- 18 者作是言此非粥此是遙浮那河若見**强者**⁵¹⁸
- 19 便言此非粥是飯折人齒諸比丘以是目緣
- 20 往白世尊佛言呼是比丘来来已佛問比丘
- 21 汝實尔不荅言實尔佛言從今已後粥應如
- 22 是⁵¹⁹云何知若聞打食粥撻椎聲時當知此是
- 23 二部僧粥為是一部僧為⁵²⁰師徒眷属知已應去
- 24 到已不得形相厚薄隨得應取不得越次取

(第1十五紙) T22_p506b21~

- 1 取時不得覆頭覆**右肩着**⁵²¹**革鞋**⁵²²應脫**革鞋**⁵²³偏⁵²⁴
- 2 袒右肩取若行粥人去**使**⁵²⁵者下至脫**革鞋**⁵²⁶根
- 3 若不及脫者待還時取若倩人取若坐者次
- 4 第取若薄者不得言太清如遙浮那河見月影
- 5 若强者不得言此是飯折人齒隨得應取粥

- 511 **〔木十入十土〕** 〓 概**【大】** 大正藏に校注なし。
- 512 着**〓著****【大】** 大正藏に校注なし。
- 513 堪**〓龕****【大】** 大正藏に校注なし。
- 514 棠**〓揲****【大】** 大正藏に校注なし。
- 515 堪**〓龕****【大】** 大正藏に校注なし。
- 516 𤇀**〓亦****【大】** 大正藏に校注なし。
- 517 足手**〓手足****【大】** 大正藏に校注なし。
- 518 **〔粥〕** + **【大】**
- 519 **〔知〕** + **【大】** 大正藏に校注なし。
- 520 **〔是〕** + **【大】** 大正藏に校注なし。
- 521 **〔右〕** - **【大】** 大正藏に校注なし。
- 522 着**〓著****【大】** 大正藏に校注なし。
- 523 鞋**〓履****【大】** 大正藏に校注なし。
- 524 鞋**〓履****【大】** 大正藏に校注なし。
- 525 使**〓馱****【大】** 大正藏に校注なし。
- 526 鞋**〓履****【大】** 大正藏に校注なし。

- 6 法應如是若不如是越威儀法
- 7 佛住王舍城迦蘭陀竹園⁵²⁷ 尔時比丘在帝釋
- 8 石室山邊坐禪時有比丘在前立住坐禪比
- 9 丘心不得定諸比丘以是回縁往白世尊佛
- 10 言呼是比丘来來已佛問⁵²⁸ 汝實尔不荅言實
- 11 尔佛言從今日後當如是任云何如是任不
- 12 得在坐禪比丘前立住⁵²⁹ 不得在僧中當前立
- 13 住⁵³⁰ 不得當徒衆坐前立住⁵³¹ 不得當和上阿闍
- 14 梨前立住⁵³² 及長老比丘前立住⁵³³ 不得着⁵³⁴ 革鞋⁵³⁵
- 15 又腰覆頭放兩手在邊若病者无罪不得在
- 16 姪女前立⁵³⁶ 任糲蒲⁵³⁷ 兒⁵³⁸ 前沽酒家前屠兒⁵³⁹ 前
- 17 獄卒⁵⁴⁰ 前煞人前住不得在深邃處立住住法
- 18 應如是若不如⁵⁴¹ 是越威儀法

20 僧祇律卷第卅⁵⁴² 四⁵⁴⁴

- 22 皇后藤原氏光明子奉為
- 23 尊孝贈正一位太政大臣府君尊

(第二十六紙)

- 1 妣贈從一位橘氏太夫人敬寫一切
- 2 經論及律莊嚴既了伏願憑斯
- 3 勝曰奉資冥助永庇菩提之樹長

⁵²⁷ 園＝園【大】 大正蔵に校注なし。
⁵²⁸ (言)＋【大】 大正蔵に校注なし。
⁵²⁹ (住)－【大】 大正蔵に校注なし。
⁵³⁰ (住)－【大】 大正蔵に校注なし。
⁵³¹ (住)－【大】 大正蔵に校注なし。
⁵³² (住)－【大】 大正蔵に校注なし。
⁵³³ (住)－【大】 大正蔵に校注なし。
⁵³⁴ 着＝著【大】 大正蔵に校注なし。
⁵³⁵ 鞋＝履【大】 大正蔵に校注なし。
⁵³⁶ (立)－【大】 大正蔵に校注なし。
⁵³⁷ 蒲＝捕【大】 大正蔵に校注なし。
⁵³⁸ 兒＝兒【大】 大正蔵に校注なし。「兒」の右傍に「兒」(朱書)あり。
⁵³⁹ 兒＝兒【大】 大正蔵に校注なし。
⁵⁴⁰ 卒＝囚【大】 大正蔵に校注なし。
⁵⁴¹ (不如)－【大】 大正蔵の校注の内容(是＝不如(聖))が間違えている。
⁵⁴² (摩訶)＋【大】
⁵⁴³ 卅＝三十【大】 大正蔵に校注なし。
⁵⁴⁴ 尾題部分に印記あり。

4 遊般若之津又願上奉 聖朝

5 恒延福壽下及寮采共盡忠節

6 又光明子自發誓言弘濟沉淪勤

7 除煩障妙窮諸法早契菩提乃至

8 傳燈無窮流布天下聞名持卷獲

9 福消灾一切迷方會歸覺路

天平十二年五月一日記

10

11

12

13

14

(後補軸付紙)

大正八年十一月修理之

帝室博物館總長 (醫學博士 / 文學博士) 森林太郎 (花押)

董事 奈良帝室博物館長 久保田鼎 (花押)